

16歳の2015年から5大会連続で世界陸上に出場し、22年には日本男子で初めて100mの決勝に進出。23年には最高の6位入賞。

ザニブラウン・ハキーム
選手(26)
9秒96

9月13日から、東京で陸上の世界選手権(世界陸上)が開かれます。開幕まであと3か月。今週は「人類最速」を決める陸上の花形種目、男子100mに注目します。

世界陸上まで3か月 人類最速に挑む

男子100mの世界陸上の「参加標準記録」は10秒00。2024年8月以降にこのタイムをクリアした人に出場資格があります。現時点で出場資格を得ているのは、ザニブラウン・ハキーム選手(26)。昨年8月のパリオリンピックで自己ベストの9秒96を出しました。パリでの走りを9秒91か92くらいまでいけたのではないかと振り返り、記録の更新に期待がかかります。

勢いにのっているのは、柳田大輝選手(21)。5月に、世界陸上の会場である国立競技場で行われた

かつては走り幅跳びと二刀流で、中学時代は走り幅跳びで全国優勝している。走り幅跳びの経験を生かした、一步の幅「ストライド」の大きな走りが特徴。

2017年に日本勢で初めて10秒の壁を突破し、短距離界を引っ張ってきた5月の静岡国際で優勝するなど今シーズン好調。

選手名の下のタイムは自己ベスト

桐生祥秀
選手(29)
9秒98

柳田大輝
選手(21)
10秒02

男子100m 10秒00で出場資格

日本開催 3回目

世界陸上は2年に1度開催される大会で、日本で開かれるのは1991年の東京、2007年の大阪に次いで3回目です。

開幕まで100日となった6月5日、大会のメダルデザインが発表されました。写真は、大会ロゴの扇形から陸上のレーンをイメージしたストライプの線が伸び、東京を意味する都市コード「T Y O」の字が浮かぶデザインになっています。

ボルトさんの再来!?

陸上短距離界で今、「ボルトの再来」と注目されているのが、オーストラリアの17歳、ガウト・ガウト選手です。

昨年、200mで、世界記録を持つウサイン・ボルトさん(ジャマイカ)が同じ16歳の時に出した記録を上回り、「若い頃の自分みた

い」とボルトさん本人も認めるスプリンターです。

200mで参加標準記録を突破しているガウト選手。国立競技場で新たなスターが誕生するかもしれません。

馬淵のWebで、一緒に灘中を目指そう!

小2小6 灘中Webコース

他塾生歓迎 詳細はこちら

小5 灘中専門 無料体験実施中 ※要申込資格

小6 1対1 オンライン

映像授業 + オリジナル模試

+ 1対1 個別オンラインフォロー ※要資格

1教科から受講可

- 灘中算数
- 灘中国語
- 灘中理科

小3~小6 最難関中Webコース 詳細はこちら

東大寺 西大和 洛星 洛南 甲陽 大阪星光 神戸女学院 東海

まずは! 自宅受験

灘中専門模試で学力の現在地を知ろう!

小5・小6 無料

灘中 合格判定 模試

小6 馬淵の「灘中専門」プロジェクトチームが灘中入試を徹底分析!

6/29 小5 7/21

下記の資格判定テストを兼ねます。 灘中専門1対1オンライン無料体験 灘中Webコース特待生制度

馬淵教室

中学受験コース 小1~小6

6/28 入室・夏期説明会

午後1:00~ 入室・講習準備テスト(無料)

毎週土曜日 入室・講習準備テスト(無料)

2025年 中学入試合格実績

灘中 合格者数 昨年比17%増! 129%

過去最高!!

2025年

灘中 75

17名増! 58名

※記録の実績は馬淵教室グループ在籍生の実績です。講習会、テストのみの生徒は含まれておりません。(馬淵教室調べ)